

## やまぐちっ子学力向上だより

第 9 1 号 H30.2.13  
山口県教育庁義務教育課

10月25日(水)を基準日として実施した学力定着状況確認問題について、各学校においては自校採点結果を基に、課題克服に向けた取組を推進していただいていることと思います。

本号では、県全体の状況から分かる特徴的な成果や課題について御紹介します。なお、県全体の詳細な結果については、義務教育課Webページに掲載していますので御確認ください。

### ■ 各教科の結果より

#### <成果や改善傾向が見られる内容>

全体として、基礎的な内容を問う問題については、概ね成果や改善傾向が見られました。

国語では、当該学年までに学習する漢字を正しく読むことについて、どの学年も高い正答率であり、成果が見られます。また、中学1年では、話し合いのテーマや方向性を捉えて的確に話したり、相手の意見を聞いたりすることについて、正答率が86.2%でした。

算数では、 $7.38-3.8$ のように末尾の位が揃っていない小数の計算において、小学6年の正答率が82.5%であり、平成24年度の全国学力・学習状況調査以来、継続的な課題であった内容に改善が見られました。各学校の徹底した指導の成果により、中学1年で出題された同様の問題においても、高い正答率となっています。

#### <課題が見られる内容>

国語では、今年度の全国学力・学習状況調査で出題された複数の条件に従って文章を書く問題「緑のカーテン作りへの協力をお願い」（正答率：国33.0%、県35.3%）の改善状況や他学年における状況を確認するための内容を出題しました。正答率は小学5年で25.7%、小学6年で17.5%であり、課題が見られました。

算数・数学では、小学3・4年で基準量を求める問題、小学5年で基準量と比較量の関係を判断する問題、中学1・2年で基準量を求める問題を出題しました。どの学年においても、低い正答率となっており、割合に関する問題が小・中学校ともに依然として課題となっています。

理科では、小学5年で正しい方位磁針の使い方について、正答率が34.2%となり、過去の全国学力・学習状況調査で出題された虫眼鏡や顕微鏡、方位磁針の操作など、基本的な器具の操作方法やその名称については、課題改善に至っていません。

※ その他の成果と課題については「平成29年度山口県学力定着状況確認問題結果について」（義務教育課Webページ）に詳しく掲載していますので、ぜひ御確認ください。

学力定着状況確認問題では、これまでの全国学力・学習状況調査で課題となった内容とのつながりを意識した出題や質問紙調査を行っています。再度、全国学力・学習状況調査の問題と類似した出題について改善状況を確認したり、いくつかの設問について焦点化した誤答分析を行ったりすることにより、全校体制での授業改善や学力向上に向けた取組がどのような成果につながったかを検証することが大切です。



## ■ 児童生徒質問紙調査より

### ①課題について追求し続ける児童生徒ほど正答率が高い

質問紙項目「授業の中で分からないことがあったら、どうすることが多いですか」と正答率との相関関係を見ると、「授業が終わってから先生に尋ねる」「自分で調べる」と回答した児童生徒の正答率が、他と比べて高い傾向が見られます。

### ②授業の内容がよくわかると回答した児童生徒の割合が昨年より高くなっている

質問紙項目「各教科について、授業の内容がよく分かる」について、「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」という肯定的な回答をした児童生徒の割合は、学年や教科によって差はあるものの、小・中学校ともに全体的にみると増加しています。

①から、じっくり課題に向き合うことが、学力の定着には大切であることが分かります。課題について追求し続ける児童生徒の育成のために、一人ひとりの学力をしっかりと把握し、単に答えや解法を教えるのではなく、児童生徒が学習の過程を大切に、与えられた課題を自らの力で最後まで解くことができるよう、必要に応じた指導や支援を行うことが大切です。

②から、各学校における授業改善の取組の成果が表れていることが分かります。しかしながら、各授業において授業が分からないというサインを送っている児童生徒がいることも事実です。このような児童生徒の分かる喜びやできる楽しさを育むためにも、授業改善をさらに推進していくことが大切です。

## ■ 今年度を振り返り、来年度につなげる準備をお願いします

今年度も残りわずかとなりました。学力定着状況確認問題の結果分析から見えてきた課題を課題のまま終わらせることのないよう、**当該学年までに身に付けておかなければならない学習内容について確実に定着**させるために、「やまぐちっ子学習プリント」「課題克服ジャンプアッププリント」等を有効に御活用ください。

また、県教委では、4月から各学校の課題に応じた学力向上に関する取組の推進をお願いしてきました。誤答分析を通した児童生徒の課題の**焦点化**、見えてきた課題を克服するための取組の**具体化**、全校体制による取組の**日常化**を推進する中で、どのような「成果」と「課題」が見えてきたでしょうか。学校全体で成果と課題の両面を整理し、来年度のスタートをスムーズに切るための準備を合わせてお願いします。

## 県教委作成の資料をぜひ御活用ください

県教委では、学力向上や授業改善に関する様々な資料を、義務教育課Webページで紹介・提供しています。各学校における校内研修に効果的な資料がきっと見付かるはずです。ぜひ御活用ください。

トピックス	
義務教育課フォトニュース	
募集情報	
① 臨時任用教職員等（学校学芸職員、事務職員を含む）の登録について（2016年8月4日更新）	
新着情報	
① 「やまぐちっ子学力向上だより」第8.8・8.9号について（2017年9月27日更新）	
② 「平成29年度 全国学力・学習状況調査」調査結果について（2017年9月19日更新）	
やまぐち圏地域連携教育	
教育課程	● 学力向上
幼児教育	● 教科書
児童生徒の就学相談窓口	● 後援申請
コンテンツ一覧（PDF：84KB）	● 関連リンク
	<ul style="list-style-type: none"> <li>やまぐち圏教育支援センター</li> <li>やまぐち学習支援プログラム</li> <li>山口県教育関係資料データベース</li> <li>文部科学省</li> </ul>

学力向上に関する資料を一覧でまとめているほか、全国学力・学習状況調査や学力定着状況確認問題の結果や分析内容も掲載しています。

また、これまで発刊した「やまぐちっ子学力向上だより」も掲載していますので、授業づくりや校内研修等の資料としてぜひ御活用ください。

学力向上	
学力向上資料一覧	やまぐちっ子の学力を育む検証・改善委員会
授業改善のために	きめ細かな指導体制の充実
全国学力・学習状況調査の結果	やまぐち学習支援プログラム
学力定着状況確認問題の結果	やまぐちっ子学力向上だより
お問い合わせ先 義務教育課 Tel：083-933-4600 Fax：083-933-4609 Mail：e52505@edof.yamaguchi.jp	